

平成24年 9月期 (第25回) 番組審議会 議事録 (抄)

開催日時 : 平成24年 9月18日 (火) 午後7時30分から8時10分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内

委員の出席 : 委員総数 8名

出席委員数 : 7名

欠席委員数 : 1名

放送事業者 : 2名

側出席者

- ・開会
- ・会長挨拶

1、番組審議

- ・議題
- ・番組説明・試聴

番組審議

①番組名「丹後さんきょうだい」毎週金曜日午後2時～

平成24年9月14日 (金) 午前2時～3時

出演 ふりちゃん、優、ヒビキ

内容 生まれも育ちも丹後の3姉弟が毎回テーマに沿って丹後の事や旬の話題、自分たちの体験、インタビュー等を盛り込んで話していく情報トーク番組

内容

- ・委員からの主な意見として、

情報提供がテーマになっているわけですね。

住民の声が入ってくるのは、非常に聴いている方側からすると親近感がわいてよいですね。

この番組に関わらず、もっともっと住民の声を取り上げて行くのがいいと思いました。

声ですが、作った子どもの声で違和感がありますね。

普通にしゃべられた方がよいと思います。

今回のテーマにもあった自殺防止の話しを子どもの声でするのはおかしくないですか。

内容にもよりますが、子どもの設定にする必要はないと思います。

内容によって変えるのであれば、しゃべり方も変えなくてよいと思いますし、自殺防止のテーマ等、内容によってはふざけているようにも感じ、不快に聴こえる場合もあると思います。

普通にしゃべられる方がよいと思います。

情報があってイベントの案内があって内容はいいですね。

しゃべり方の話しですが、番組が始まって最初にだんご三兄弟の曲が流れてきたので、若く設定されている話し方でも自然に入ってきました。

私のイメージした曲と話しかたというのはあっていました。だんご三兄弟の曲が子どもの曲ということもあると思います。

ただ、伝える内容によっては、やはり考えないといけないと思います。

全体的なテンポがよく聞きやすかった。

コンセプトもわかりやすくよいのですが、年齢設定にこだわらず、丹後のさんきょうだいでもよいのでは。やはり、伝える内容によっては作ったような言い方は耳に残って、不快に思われる方もおられると思います。

内容にあった番組で取り上げられるのが一番いいと思います。

今回の自殺防止週間のテーマに関して、1つの番組だけでなく1週間を通して色々な番組で訴えていくことも必要でしょうし、1番大事な問題は、番組の中でどういう態度で、しゃべりかたや、口調にしても少し考えていただければ違い、真剣さは伝わってくると思いますしTPOを考えていただければいいと思います。

色々な番組で何度も取り上げ、一過性のものではないことは必要だと思いました。

以上、意見有（一部）

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容

- ① 当局事務所内に掲示
- ② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし